

みずほCustomer Desk Report 2017/08/04 号(As of 2017/08/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.77 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.76	1.1852	131.26	0.9708	1.3227	0.7955
SYD-NY High	110.82	1.1893	131.33	0.9716	1.3267	0.7968
SYD-NY Low	109.86	1.1830	130.48	0.9673	1.3113	0.7914
NY 5:00 PM	110.05	1.1868	130.60	0.9686	1.3137	0.7948
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.5/8.9		△25RR	1.050	Yen Call Over	

NY DOW	22,026.10	9.86	債券市場	日本2年債	-0.1160	▲0.3bp
NASDAQ	6,340.34	▲22.30		日本10年債	0.0690	▲0.9bp
S&P	2,472.16	▲5.41		米国2年債	1.3390	▲2.0bp
日経平均	20,029.26	▲50.78		米国5年債	1.7879	▲3.8bp
TOPIX	1,633.82	▲0.56		米国10年債	2.2212	▲5.0bp
シカゴ日経先物	19,970.00	▲105.00	為替市況	独10年債	0.4530	▲3.3bp
ロンドンFT	7,474.77	63.34		英10年債	1.1490	▲8.7bp
DAX	12,154.72	▲26.76		豪10年債	2.6650	▲3.9bp
ハンセン指数	27,531.01	▲76.37		USD/CNH	6.7295	▲0.0003
上海総合	3,272.93	▲12.13		ドルインデックス	92.84	0.00
USDJPY 3M Vol	9.13	0.13%	商品市況	CRB指数	180.648	▲1.36
USDJPY 6M Vol	9.24	0.02%		NY金	1,274.40	▲4.00
EURJPY 3M Vol	9.52	▲0.01%		WTI	49.03	▲0.56
EURJPY 6M Vol	9.68	▲0.04%		Dubai Spot	51.10	0.76

東京

オセアニア時間に高値110.82をつけたドル円は110.76レベルでオープン。公示仲値の発表時間前後で再び110.82まで上昇する局面があったものの、米金利が低下し、安寄りした日経平均株価も下げ幅を拡大する中、ドル円の値は押さえられた。午後には安倍政権の改造内閣閣僚名簿や自民党役員人事が発表され、安倍首相から「経済最優先で取り組む」とのコメントが出たものの相場への影響は限定的。その後は翌日に米7月雇用統計の発表を控えて明確な方向感はず、110円台後半で推移した後、110.63レベルで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン

ロンドン市場ドル円は小緩んだ、110.63レベルでオープン。英中銀の政策金利発表を受けてボンドが売られドル円が下落すると、ドル円も110.33まで連れ安の展開。午後の米経済指標の発表を控えて同水準で推移した後、110.37レベルでニューヨークへ渡った。ボンドドルは売られた。1.3224レベルでオープン。英中銀は6対2で政策金利を0.25%に据え置き、GDP見通しを2017年度+1.7%、2018年度+1.6%と前回時点での見通し(2017年度+1.9%、2018年度+1.7%)から下方修正した。市場コンセンサス通りであったが、発表後もボンドの軟調地合いは継続。ソングース委員とマカフィー委員に加え、6月に今年下半期の利上げを支持する公算が大きいと述べているハルデン理事が利上げ支持に加わることを期待していた一部市場参加者のポジション調整が入ったとの見方もあった。結局ボンドドルは1.3140レベルまで下落し値を探りながらニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)

ニューヨーク

海外市場では英中銀理事会結果を受けボンド円が下落したことから、ドル円も連れて110.33まで下落し、110.37レベルでNYオープン。朝方の米新規失業保険申請件数は事前予想とほぼ一致したことからドル円の反応は限定的となる。しかし続いて発表された米7月ISM非製造業景況指数が、新規受注や雇用等が前月から低下したことを背景に大きく予想を下回ったことからユーロドルが上昇する動きにユーロドルも連れて上昇し、1.1856レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1872まで上昇する。その後英中銀理事会結果を受け、欧州金利が低下したことから1.1843まで下押しする局面もあったものの、米7月ISM非製造業結果を受けたドル売りに1.1893まで上昇。午後は翌日に米7月雇用統計の発表を控えて方向感の無い開散な展開となり、1.1868レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 濱坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月3日	08:50	対内・対外証券投資	-	-
	10:30	貿易収支	6月	A\$856M
	10:45	Caixin PMI(コンポジット/サービス業)	7月	51.9/51.5
	16:55	マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	7月	54.7/53.1
	17:00	マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	7月	55.7/55.4
	20:00	政策金利/資産購入目標	8月	0.250%/£435B
	21:30	新規失業保険申請件数	-	240K
	22:45	マークイットPMI(コンポジット/サービス業)・確報	7月	54.6/54.7
	23:00	ISM非製造業景況指数	7月	53.9
	23:00	製造業受注指数	6月	3.00%
	23:00	耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	6月	6.4%/0.1%

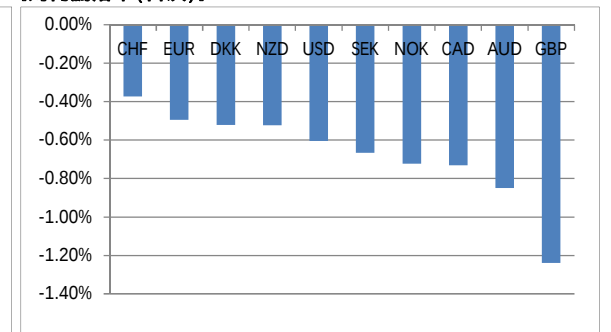
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月4日	10:30	小売売上高(前月比)	6月	0.2%
	10:30	RBA 議事要旨	-	-
	21:30	非農業部門雇用者数変化/失業率	7月	180K/4.3%
	21:30	平均時給(前月比/前年比)	7月	0.3%/2.4%
	21:30	貿易収支	6月	-\$44.5B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.70-110.60	1.1800-1.1900	129.50-131.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間の外国為替相場は総じてドル安が進行し、ドル円は109円台まで円高が進行。昨日は米ISMが発表した7月の非製造業総合景況指数が前月の57.4から53.9へと低下し、約1年ぶりの低水準となったことをきっかけにドル安が進行。加えてその後、モラー米特別捜査官がロシア疑惑捜査で大陪審を設置したと報道されたため、一段とドル安が進み、ドル円は110円を割り込むとともに、ユーロドルは1.188付近までユーロ高が進行する結果となった。本日は米7月雇用統計が発表される。事前予想では非農業部門雇用者数は18万人の増加が見込まれているが、重要指標の発表を前に値動きに乏しい展開が想定される。